

# 清水中学校 校内研究便り No.1 令和元年 7月2日

「読み鍛」公開授業後の協議のまとめ

公開日	教科	良かったこと	工夫改善	具体的な今後の取り組み
6月25日	美術	<p>〈表現〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の授業で観賞文がしっかり書けていた生徒が多かったため、班での発表もできていた。</li> <li>・造形的な用語で語る（語ろうとする）表現する（表現しようとする）生徒が多かった。</li> </ul> <p>〈考える〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作者の心情や表現の意図を感じ取れている生徒もいた。</li> <li>・意欲的で、能力の高い話し合いや発表があった。</li> </ul> <p>〈聴く〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんどの生徒が発表をきちんと聞いていた。</li> </ul> <p>〈授業展開〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やることの明確化→見通しを持った展開→発表者、聴く側は何を注意すべきなのかを具体的に黒板やパワーポイントで表されていた。（個人→班→クラス）</li> </ul>	<p>〈話す〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表の声が小さいため、他者（聞き手）を意識しながら話をするという訓練をどの授業でも、学級活動でもやっていく必要がある。</li> </ul> <p>〈考える・深める〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の意見を聞いて、書き取るで終わるだけではなく、さらに深い話し合い活動にするための手立てが必要。</li> <li>・同じ視点で深い班活動にするためには、班に1冊の本でも良かったのかもしれない。</li> <li>・主体的に取り組むためには、班の人数についても考える必要があるのかもしれない。（5人は多いのでは）</li> <li>・活動に入る前の、説明の情報量が多いと理解しにくくなるため、分かりやすく伝えるための工夫が必要。</li> </ul> <p>〈めあて〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の目標と視点が外れた話になっている生徒もいたため、課題（めあて）把握をしっかり生徒のものにさせるための工夫が必要。</li> </ul>	<p>・ <b>深い学びへの工夫</b></p> <p>〈話し合いの視点〉 （理由と予想） たぶん□になると思います。 なぜなら・・・ 理由は・・・だからです。 私は○○だと思うな。だって・・・ （視点） □から考えると～ですが、△から考えると・・・ （条件）原因を考える</p>
	理科	<p>〈興味関心〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サーモグラフィーやコースター、電球など、様々な教具が準備されていたため、可視化されていてわかりやすく、興味も引かれた。</li> <li>・主体的に考えてみたくなるような導入だった。</li> </ul> <p>〈考える〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人思考→班思考と、考える時間が十分に確保されていた。</li> <li>・関わり合い、話し合い、発表がよくできており、一人一人意見をしっかりと持つことができていた。</li> <li>・思考の手助けとなるワークシートの活用ができていた。</li> <li>・生徒の発言を繋げて課題解決に持っていかこうとする教師の姿が見られた。</li> </ul> <p>〈仲間づくり〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共に課題解決を行おうとする雰囲気、学級づくりができていた。</li> </ul>	<p>〈考える・深める〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人思考、グループ思考での深まりを持たせるために、既習事項をどう生かしていくかを考えていく必要がある。</li> <li>・ペア活動を増やす。</li> <li>・全体の時間配分→思考させるところに十分時間をとるようにする。</li> <li>・考えるための情報量、知識の不足</li> <li>・おさえるところはしっかりおさえる。</li> <li>・意見や内容を確認する時間を確保する。</li> <li>・まとめを生徒の言葉で書かせる。</li> </ul> <p>〈めあて〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・導入での興味関心とめあて、授業内容の繋がりと関連性を持たせる。</li> <li>・評価規準とめあてが一致しておらず、本時でどんな力をつけたいかが明確でなかった。</li> </ul>	<p>・ <b>めあての設定の工夫</b></p> <p>☆本時で何を学ぶのか（見通し） ☆何ができるようになるのか（ゴール） ☆どのようにして解決していくのか（手立て）が分かるめあての設定</p>

6月25日（火）に、3年1組で理科、2年1組で美術の公開授業を行いました。今年度の清水中学校の研究主題である、「『読む力』を鍛え、思考力・判断力・表現力を育む授業づくり」生徒ができる・分かる授業の実現に向けて、教職員で学び合う機会を設けています。教員用・生徒用の授業力チェックシートも参考にしながら、今後の授業改善に向けて、今回の学びを生かし



- ～ 今後の公開授業 ～
- 10月11日（金）  
1年総合・2年数学  
3年家庭科
  - 11月14日（木）  
1年英語・2年国語  
3年体育
  - 1月22日（水）  
1年音楽・2年社会  
3年技術